対象年度令和５年度

学校関係者評価結果

令和 6 年 11 月 30 日

船橋情報ビジネス専門学校
学校関係者評価委員会

Ⅰ．　学校関係者評価の位置づけ

一般的に学校関係者評価とは、保護者、学校評議員、地域住民、青少年健全育成関係団体の関係者、接続する学校の教職員その他の学校関係者などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することを基本として行うものである。

本校においては、学校関係者評価委員会が学校関係者評価を行う組織として設置している。本校における本委員会は、本校が毎年実施する本校の教育活動、運営に関する自己評価結果をベースとし、業界における専門性、地域社会の動向、本校卒業生の本校での経験を踏まえ、本校の教育活動、運営の改善を図り、本校校長に助言することを目的とする。

その委員は、本校校長が専攻分野の実務経験などの視点から人選し選任している。また、本委員会の委員には本校の教職員は含まない。

目　　次

(1)　令和５年度、船橋情報ビジネス専門学校関係者評価 4
(2)　学校関係者評価結果概要 4
(3) 学校関係者評価結果詳細 4
基準１ 教育理念・目的・育成人材像 4
基準２ 学校運営 5
基準３ 教育活動 5
基準４ 学修成果 5
基準５ 学生支援 5
基準６ 教育環境 5
基準７ 学生の募集と受入れ 6
基準８ 財　務 6
基準９ 法令等の遵守 6
基準 10 社会貢献・地域貢献 6

(1) 令和５年度、船橋情報ビジネス専門学校関係者評価

学校関係者評価は学校関係者評価委員会の実施により行われる。
船橋情報ビジネス専門学校の学校関係者評価委員会は令和 6 年 10 月 31 日にホテルフローラ船橋に於いて実施された。委員会の冒頭に本校の学校自己評価結果についての説明を学校側より受けた。

学校側の説明と資料を踏まえて学校自己評価の評価項目毎に確認と評価と指摘を行った。学校評価委員は委員長以下委員全員が本校の役職員ではなく、校外の企業や団体の役職員であるため、本校の学校自己評価の説明のためと学校運営に関する委員からの疑問や確認事項に答えるために、校長、教務部長、就職室長が委員会に同席した。
また、会議室の運営、議事録の作成のため本校の総務部長、事務局も同席している。

(2) 学校関係者評価結果概要

全体を通して、今回の学校関係者評価委員会に於いては学校自己評価に関しても学校運営自体に関しても、特に不適とする指摘、緊急で改善を要する様な指摘はなかった。

(3) 学校関係者評価結果詳細

以下の学校関係者評価は本校学校自己評価の各項目と対応している。

基準 1 教育理念・目的・育成人材像

教育理念から、自立した職業人の育成を教育の目標としている事が読み取れ、学生を受け入れる業界、企業の立場からは、技術、人格、資格を兼ね備えた人材育成を期待するが、本校はそれに沿う教育方針があり、成果もでていると評価された。学校の理念３つの守りを身に付けることにプラスして感じの良い挨拶をきちんとできる事を教育の中で重視していること。IT 知識は勉強する事で社会に出てからも身につけることは出来るが、礼儀正しさは「礼儀」を意識した普段の生活態度から身につくことであり、社会に出て社内外の人に与える印象が「好感」されるかどうかの重要なポイントとなり、採用面接でも同様に重視される。社会人となる前の人間教育は継続し注力する事を切望する。

基準 2 学校運営

特に学校関係者評価委員よりの確認・指摘となった事項はなかった。

基準 3 教育活動

令和 5 年度は全ての授業を通常に戻した。資格取得状況、学生アンケートによる満足度など、コロナ以前と遜色のない結果を出したことを評価したい。

授業については単位制へ移行したことで、個々に合わせた学習からハイレベルな学習までの授業や企業連携の授業等に対応できるよう柔軟なカリキュラムが組めることになった。新技術である生成ＡＩに対する授業を開始したことについても評価したい。

基準 4 学修成果

IT エンジニア 4 年制の学生を中心に情報処理技術者試験レベル４を 31 名が取得し、レベル３の応用情報技術者試験資格についても 79 名が取得し、全国トップレベルの合格者を輩出した。

新しい取り組みとしてＡＷＳの資格修得（ＡＷＳクラウドプラクティショナー）の取組が進み 4 年制では 50～80％の合格者を出せるようになった。3 年制、2 年制学科の学生にも一部試験に取組み対象者を拡げ、受験者を増やしていく。就職に関して、ＡＷＳの資格修得者の問い合わせが多くなっていることから、新しい資格へのチャレンジを評価したい。

基準 5 学生支援

各種行事が平常化できているとの説明を受けた。前年度から 4 月に行う研修合宿も再開した。学園祭も外部の方を入場させて実施できている。コロナウイルスの影響はほぼなくなり、学生生活活性化にも繋がっている。

学生の就活支援について組織的な取り組みとその成果について確認をした。就職指導室と担任の先生とで学生を担当しており、特に就職指導室には 5 名配置し手厚い就活支援をしている。就活のイベントの新しい取り組みとして、企業との接点を増やす場として活用していくことが確認された。

基準 6 教育環境

コロナ禍での留学生受け入れ及びグローバル化の方向性についての考えを議論した。留学生入学についての問い合わせが増えているが、留学生の日本語取得レベルがＮ２に満たないケースが多く、厳しい入学状況が続いている。留学生が

来日する人数も増加していることから教育レベルは下げず留学生数を増やす対策について議論した。

近年の地震、台風による浸水などの災害に備える体制の防災面について確認がされた。災害対策としては賞味期限切れ備蓄品等を入れ替えるなど行った報告があった。

基準 7 学生の募集と受入れ

首都圏情報系大学との競争が激化したため、例年より苦戦を強いられた。本年度も定員までは厳しいとの説明を受けた。国内の IT 人材ニーズは常にひっ迫しており、大学とは違った学びを提供することで、引き続き人材不足の課題解決に貢献してゆきたいとの姿勢を評価したい。

高等教育の修学支援新制度は返済の必要のない給付型で利用学生のメリットは大きく、20%近い利用実績があったとの報告を受けた。対象者の枠の制限が広がる『新規拡充区分』として、『多子世帯に属してる』又は『私立理工系の学科等に在籍している』学生には年収の制限が緩和されることとなったものの、条件の複雑化が進み、事務が煩雑になり作業量が増しているとの説明があった。

基準 8 財　務

例年のことではあるが、財務状況は健全であることが確認され安定性は特筆できると評価した。学校関係者評価委員からの指摘事項は特になかった。

基準 9 法令等の遵守

特に学校関係者評価委員よりの確認・指摘となった事項はなかった。

基準 10 社会貢献・地域貢献

従来から地域に密着した、ボランティア活動を行っていることは評価していたが、令和５年度は雨天のため中止となったが、船橋市美化運動が再開され、約２０名の学生が参加表明をしたとの報告があった。

以上